

### 【一般社団法人日本地質学会の概要】

1893(明治 26) 創立。2008(平成 20) より一般社団法人日本地質学会となりました。本会は、研究者、教員、技術者、学生、生徒、地質愛好者など約4000名が所属し、この分野を包括し、日本の地球諸科学関連学協会の中で最大規模の学会です。学問の振興と社会の発展に寄与・貢献することを目的として、学術誌「地質学雑誌」(年12回)と欧文誌「Island Arc」(年4回)の刊行、学術大会の開催を行なっています。また、会員向けの情報サービスとして「地質学会 News」(年 12 回)、メールマガジン「geo-Flash」(年 24 回以上)を発行するほか、会員に限らず一般の学生、社会人を対象とした SNS「ちーとも」の運営、今年創刊した地質情報誌「ジオルジュ」の発行、このほか様々な普及教育活動を全国で行っています。

また、地質リーフレットなどの学会出版物の発行や、地球科学に関する多くの学術書の編集に日本地質学会は携わっています。

### 【学術大会】

毎年秋に開催される研究学術成果講演会であり、開催地を移しつつ全国各地で行われ、例年約600件の講演を含めて約1000名弱が参加します。研究者の講演と同じ会場内で小学、中学、高校生の児童生徒による研究発表会である「小さな Earth Scientist の集い」も開催されています。また同時に会員向けおよび教員向けに開催地周辺の地質を現地討論する巡検(地質見学)も行われます。独立行政法人産業技術総合研究所 地質調査総合センターと共催で、地質情報展や普及講演会等も大会に合わせて開催しています。学術学会の大会でこれほどの規模で教育普及イベントを同時開催し、それを全国各地で実施している学会は他に類を見ません。

### 【地質情報展】

1997 年より毎年地質学会学術大会に合わせて開催され、今回で 17 回目となります。地質のトピックや開催県の地質に関するパネル・標本展示のほか、地学に関するいろいろな実験や観察の体験コーナー、市民向けの講演会が用意されます。各展示コーナーでは研究者が解説を行い、見学者は研究者に直接いろいろな質問をすることができます。ここ最近の実績では三日間の会期中に約二千人の市民の皆様に来場頂いております。